

2007年2月17日(土)

■受付開始9:00～ 開会9:30～

東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館

主催 ■ 沿岸環境関連学会連絡協議会・日本水産学会

沿環連 <http://www.wv.mei.titech.ac.jp/coast-env/index.html>

応用生態工学会・水産海洋学会・日本水産学会・日本海洋学会海洋環境問題委員会
土木学会海岸工学委員会・土木学会水工学委員会・日本水産工学会物質循環研究会
日本船舶海洋工学会海洋環境研究交流会

主催者挨拶 ■ 今井一郎 (日本水産学会水産環境保全委員会委員長、沿環連、京大院・農)
趣旨説明 ■ 清野聡子 (東大院・総合文化)・広石伸互 (福井県立大)

第1部 ■ 沿岸環境モニタリングの現場の課題と解決の方向性

司会：広石伸互 (福井県立大)

A. 「赤潮・貝毒のモニタリング」を事例として (9:50～)

講演 ■ 水産試験研究機関からの現状報告および具体的な提案

1. 水産試験場の現場からの発言
 - 1) 愛媛県水産試験場 小泉喜嗣
 - 2) 三重県科学技術振興センター水産研究部 畑 直垂
2. 瀬戸内海および九州ブロックからの発言
 - 3) 香川県水産試験場 吉松定昭
 - 4) (独)水産総合研究センター西海区水産研究所 小谷祐一
3. 赤潮・貝毒のモニタリングの重要性、問題点および提案
 - 5) (独)水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所 板倉 茂
4. 水産庁の現状認識および対応
 - 6) 水産庁 漁場資源課 和田雅人

■ 討論

— 昼 休 み —

B. 研究活動、研究機関、地方自治体の事例 (13:00～)

1. 水産海洋研究者
沿岸環境モニタリングの重要性
日本水路協会海洋情報研究センター 友定 彰
2. 地方自治体
千葉県三番瀬再生事業における沿岸環境モニタリング
千葉県三番瀬再生推進室 高橋良彦

第2部 ■ 沿岸環境モニタリングと法制度 (13:50～)

司会：清野聡子 (東大院・総合文化)

1. 海洋基本法案など海洋関連法の動向
海洋政策研究財団 寺島紘士
2. 現在のモニタリング事業が依拠する現行関連法の概要の紹介
関係各省 水産庁、環境省、国土交通省、海上保安庁など

■ 質疑応答

— 休 憩 —

第3部 ■ 沿岸環境モニタリングの継続と発展にむけてのアピール (15:30～)

1. 沿環連からの提言・アピールの原案について
灘岡和夫 (沿環連/東工大・院)
※ワークショップ形式で原案をもとに、会場の参加で文章作成
2. 総括 沿環連アピールの今後の提言活動の具体的進め方

■ 意見交換会 (17:30～) ※会場付近

参加費 ■ 1000円 (資料費含む)

申込先 ■ 申込専用アドレス: monitoring@icataquo.jp FAX. 03-5454-6998 清野聡子宛
東京大学大学院 総合文化研究科 広域システム科学 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1
TEL. 03-5454-6793 FAX. 03-5454-6998 fwid6176@mb.infoweb.ne.jp
※メールかファックスでお願いいたします。当日参加も可能ですが、事前準備のため人数把握にご協力をお願いします。

沿岸環境モニタリング

沿環連 第17回 ショーインストリメンポジウム

の継続性を支える
制度・資金・人の現状と課題

今、“学”がどきどきしているのは何か？